# 地質ニュース

昭和46年6月　第202号　1971


解説　英仏両国における海洋地質調査研究活動の現状……井上英二‥1
その1　英国とくに地質科学研究所の活動を中心にして

トピックス　環境問題をめぐる最近の情勢……木野義人‥20

水井戸での γ—γ 密度検層の問題点について……小鯛桂一‥26

顕微鏡下の岩石⑮～変成岩(その1　熱変成岩)～……片田正人・松井和典・正井義郎‥28

講座　層位学（総論　その5）……福田理‥32

高温・高圧のはなし⑦……針谷宥‥50

海外情報　第2回岩の力学国際学会について……星野一男‥42

横須賀市博物館のおいたちと使命……蟹江康光・正井義郎‥59

学会掲示板……49


編集　地質調査所

表紙の写真

アンモナイト（Ammonite）（約×1/2）

北海道浦河郡浦河町西幌別産　横須賀市博物館所蔵

北海道の白亜紀層からは保存のよい化石がたくさんみつかっています．そのなかでも ノジュールの中に保存されている化石の中には きわめて美しいものが時々みつかっています． このノジュールには幾種かの化石が集合状態をなしています． 巨大なアンモナイトは*Gaudryceras tenuiliratum* で 上部白亜紀の浦河世を示す特徴種です． 破壊されている住房を復元すると直径40cmに達すると推定され 同種ではいままでに報告されている最大のものと思われます． アンモナイトの中央部にみられる菊の葉状の模様は縫合線と呼ばれ その形から菊石ともいわれます． ノジュールの上部には扁平なアンモナイトの *Hauericeras angustum* 異常巻アンモナイトの *Polyptychoceras* sp. 二枚貝の *Inoceramus balticus b.* *Inoceramus orientalis* が いっしょについています．

（文　蟹江康光　写真　正井義郎）

発行　株式会社　実業公報社